

英語科学習指導案

授業者：光 田 拓
NET：Peter Cheng

1. 日時 平成 25 年 6 月 24 日（月） 6 校時/14:25～15:15（50 分）
2. 場所 枚方市立第三中学校 生徒支援 2 教室
3. 学年・組 第 2 学年 2 組 少人数・基礎クラス(男子 8 人、女子 11 人)
4. 単元名 「NEW HORIZON ENGLISH COURSE 2」 （東京書籍）

Unit 3 「My Future Job」

5. 単元目標

- to 不定詞使った文をできるだけ多く使いコミュニケーションへの関心・意欲・態度を身につける。
- 本文の内容を理解する。
- to 不定詞を正しく使って、質問文に即座に返答が出来るようになる。
- 将来への悩みや相談を掲示板に書き込むことを通してネットの利点について英語で考える。

6. 教材観

自己表現やコミュニケーション能力の向上を図るためには様々なことに関して見識を広げる必要があり、この視点からも職業について学ぶことが大切であると考えている。その生徒たちが避けて通れない“職業”について学ぶときに、今回登場する to 不定詞を利用し親しめるように進めて行きたい。

7. 生徒観

英語に対する興味・関心が高く、授業に関しても全体的に積極的な姿勢が見られる。授業全体の雰囲気も良く、発言しようとする意欲も見られる。個々の発言に対しても間違えを恐れず、意欲的にコミュニケーションしようとする姿勢がみられる。生徒指導面に課題を抱える生徒もいるため、その生徒に対して他の生徒たちが仲間としてどのように付き合っていくかを授業を通して考える機会を与えて進めている。

また小学校の外国語活動の中で一度学習した職業に関して、新たな視点から学習を行い、発達段階にあった“職業観”が得られるように進めて行く。

8. 指導観

普段の授業から“仲間づくり”を視点に入れて授業を進めている。最終的な目標は生徒による“自治力”を身に着けることであり、授業内でどれだけ“道徳的な視点”を盛り込むことができるかを考えて授業を進めている。このクラスには授業に対して積極的な生徒も多くいると同時に、なかなか集中できない生徒も多くいる。その生徒たちにどのように声掛けを他の生徒たちがしていけるのかなども考えながら、授業を計画し進めている。

また、普段から可能な限り生徒が英語を使うことを主体とした授業を推し進め、自分たちの意見を発表し、仲間の発言を尊重するという、生徒一人ひとりが発言しやすい雰囲気作り進めている。

9. 単元の評価規準

	A コ コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	B 表 表現の能力	C 理 理解の能力	D 言 言語や文化についての 知識・理解
聞く	①教師やペアの相手の話を興味を持って聞こうとする。	① 今まで習った表現やto不定詞の文を使って相手に質問をすることができ、またその質問に答えられる。	①言われた質問内容を正しく聞き取り理解できる。	① to不定詞の用法を理解する。 ② ネット上の掲示板にて相談する目的から親身に自分のことを考えてくれる仲間の大切さについて理解する。 ③ ネットの利点について考える。
話す	②間違いを恐れず積極的に英語で話そうとする。 Classroom English を積極的に使おうとする。		②本文内容について正しく読み取ることが出来る。また、質問内容を読み取れる。	
読む	③文を意欲的に読む。	② 正しく音読することが出来る。		
書く	④書かれてある質問に対しての返答を意欲的に書こうとする。	③Target words を用いてクラスメートのクラブ入部の目的が書ける。		

10. 指導と評価の計画

時数	○ねらい・学習内容	評価規準				評価方法
		コ	表	理	言	
第1時	Unit 3 Part 1 ・文法 (to不定詞 副詞的用法) ・本文	A③			D①	プリント 授業観察
第2時	Unit 3 Part 2 ・文法 (to不定詞 名詞的用法) ・本文	A③	B①			1min chat 観察 授業観察
第3時	Unit 3 Part 3 ・文法 (to不定詞 形容詞的用法) ・確認		B③	C①		Q&A 観察 Topic chat 観察
第4時	Unit 3 Part 3/4 本文		B②	C②		授業観察 Q&A
第5時	Unit 3 Part 3/4 本文	A④	B③		D②	授業観察 授業観察 プリント
第6時	Unit 2 All Review 本文内容をオーラルでの All Review ① Greeting ② Oral Introduction －Picture Comment や生徒からの発言を用いながらオーラルで全復習を行う。 －確認の QA も同時に進める。 ③ Brain Storming －絶滅危惧種について意見交換を行う。英語の時制をここ	A① A②				授業観察

	<p>でしっかりとトピックの中でわかるように触れて復習を行う。</p> <p>④ 自学時間</p>				D③ (U2)	発言・授業観察
第6時	<p>Unit 3 All Review 本文内容をオーラルでの All Review</p> <p>① Greeting</p> <p>② Oral Introduction －Picture Comment や生徒からの発言を用いながらオーラルで全復習を行う。 －確認の QA も同時に進めて行く。</p> <p>③ Brain Storming －4名の考えを通して、自分たちが夢を実現するために具体的にどのようなことをしていくべきなのかなどを話し合う。</p> <p>④ 自学時間</p>	A① A②			D② D③	授業観察 授業観察
第7時	<p>Unit 3 総復習 Review of “to 不定詞”</p> <p>① Introduction of new occupations －生徒たちに問いかけ、いろいろな職業について出させる。</p> <p>② Finding Partner －PPT を利用し意味を確認した後に職業カードと説明カードを持っているペアを探す。</p> <p>③ Concentration Game －生徒たちに神経衰弱をさせる。引いたカードを必ず読ませる。</p> <p>④ Consolidation 授業ゴールの達成について確認。</p>	A① A① A② A②	B② B②			授業観察

11. 使用教材

Projector / Lap-Top Cards / Picture

12. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ to 不定詞を使用し、様々な職業について表現できるようになる。また活動を通じて不定詞に親しむ。
- ・ さまざまな職業を知る。また自分の将来について考える機会を持つ。

(2) 展開

学習活動・時間	JET の活動	NET の活動	指導上の留意点	補助教材	評価方法
1. Greeting and Ice breaking	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶する。 活動観察 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶する。 活動観察 	元気に挨拶する。		
2. Introduction	<ul style="list-style-type: none"> My Future Job について NET と会話を行い、いくつかのポイントを生徒に聞き取らせる。最後に本時の目的提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> My Future Job について JET と会話を行う。その後、生徒への簡単な質問を英語でする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の中学生の頃の理想の仕事などをわかりやすく紹介する。 		
3 Introduction of new words (occupation) I 生徒が知っている職業を挙げさせる。出ないものに関しては、 ①Keywords ②Who am I? ③Interview をなど通して合計 19 種類の職業カードを黒板に貼る。	<ul style="list-style-type: none"> NET と協力し、Keywords Reading や Interview を通して紹介する。 発音練習を行う。 カードを外しながら最終確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> JET と協力し、Keywords Reading や Interview を通して紹介する。 発音練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> スピーディーに、明確なフレーズを与えつつ進めて行く。 	Cards Screen Projector PC	
II 生徒たちに一枚ずつカードを渡し、自分の持っている職業カードに関する写真が出たら、キーフレーズを使って文を作って発表して座る。	<ul style="list-style-type: none"> 的確な指示を行い、生徒に職業カードを一枚ずつ手渡す。またキーフレーズの練習。 自分のカードの内容を表す映像が投影されたら、キーフレーズを使って英文を使って言い、座る。 	<ul style="list-style-type: none"> スクリーンに職業を表す映像を投影する。生徒が正しく自分の持つカードの職業を含めてフレーズが言えているか確認する。 写真の投影 	<ul style="list-style-type: none"> That's my job. I am ■. をキーフレーズにして、表現練習を活動の中で行う。 		A② 授業観察 B②
4 Finding Partner <ul style="list-style-type: none"> 生徒の職業カードと理由カード 2 種類を持たせ、マッチングを行う。 マッチングができたらペアで座らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に説明後に新たなカードを配布する。 マッチングができた生徒から座っていく。 解答を合わせる。 指示をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 的確な指示を出し、生徒にカードを配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも必ず最後まで読み切ってマッチングをすることを確認する。 	Cards	A①② B②
5. Activity <ul style="list-style-type: none"> 4 人グループを作り、神経衰弱ゲームを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示が終わったらグループに 1 束ずつカードを配る。 グループでゲームが進行しているか机間指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 的確な指示を生徒に出し、進める。 グループでゲームが進行しているか机間指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> しっかりとキーフレーズを生徒たちがカードを引いたときに言っているかを確認する。 	Cards	A② 授業観察
6. Consolidation	<ul style="list-style-type: none"> 今日のゴールを達成ができたのか確認する。 次回の授業の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な質問を行い、生徒の到達度を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標がしっかり達成できたかを確認する。 		

13. 板書計画

Goal				
	Cards	Cards	Screen	That's my job. I am a _____.
Programs				I want to be a _____ to _____.